

我孫子バプテスト教会

週報 N50-2563 号 主日礼拝 2025 年 8 月 17 日

わが子よ、主の懲しめを軽んじてはならない、その戒めをきらってはならない。主は、愛する者を、戒められるからである、あたかも父がその愛する子を戒めるように。
(箴言 3 章 11,12 節)

1 前 奏	一同黙想
2 会衆賛美	(聖歌85番, 総合版25, ABA---) 御神の愛をば (日本語1-4節+英語1節)
3 祈 祷	レックス宣教師
4 会衆賛美	(聖歌593番, 総合版631, ABA---) ああ恵み(罪に満てる世界) (日本語1-4節+英語1節)
5 献 金	モイモイ兄・高橋兄
6 特別賛美	有志, 成人キャンプ参加者
7 証	エマニュエル兄
8 聖書朗読	ガラテヤ書3:1-5
9 説 教	叱責のクエスチョンマーク
10 会衆賛美	(いのちのこばりピンギングプレイズVOL.8) 御霊に歩み (日→日→英→日の順で)
11 終 祷	鯉渕兄
12 報 告	司会者

奉 仕	今 週	次 週
礼 拝	説 教	信勝牧師
	司 会	内田豊木兄
	奏 楽	晶子姉・須藤兄
	献 金	エマ兄・マイケル兄
	受付/会場	荏草姉
	育 児	ベンジー姉
日 曜 学 校	通 訳	須藤兄
	司 会	エマ兄/グローリー姉
	お話	実香姉
	青年科	エマ兄
	成人科	吉川師
	小澤良男兄	
夕 拝	説 教	エマ兄
	司 会	内田兄
	奏 楽	晶子姉
	説 教	レックス宣教師
	司 会	内田兄
	シオン	福田師

【霊想】2025 成人キャンプの恵み

今年の JBA 成人キャンプは、8月11日から13日まで、60名ほどの出席者で、埼玉県活動センターで、東埼玉バプテスト教会主催で、「信仰のバトンとともに」という、信仰継承をテーマにもたれました。今年は第60回目のキャンプで、毎年夏開催されてきたのだなと感慨深いものがありました。多くの方との出会いと、多くの決心者が起こされてきた聖会です。

キャンプから戻ってきた 20 日の水曜祈禱会でも、それぞれ恵みの証会を持ちました。

キャンプの第一集会では、河原陸夫師が「教会の継承」をテーマに語ってくださいました。河原師こそ、この JBA を草創期から見守ってきた師の一人です。主がお立てくださった主の教会を主の再臨の時まで存続していくことの意義、価値、主のご命令であり、主の約束であることを改めて確認しました。

第二集会では、私が「信仰の継承、家庭」というテーマで語りました。牧師三代目、信仰継承をしてきた中で、また、神学校の卒論と同じテーマであることをふまえて、聖書から、体験からポイントを語りました。

第三集会では、鴨田師が「信仰継承、社会」というテーマで、パウロの宣教旅行中にテントづくりの仕事をしてながら出会った信仰者夫妻アクラとプリスキラが、信仰の共となり、生涯の友となり、ともに宣教の活動をしていく同労者となったところから、私たちは教会であれ、家庭であれ、社会においても、クリスチャンであることを告白しつづけることの重要性を学びました。

第四集会では、信司師からアダム、エサウ、ノア、アブラハム、そしてテモテの祖母ロイスと母ユニケまでの様々な聖書人物の事例を挙げて、信仰継承のポイント、そして、中易姉のご主人の救いの証を語り、一同が恵まれました。

第二集会のあと、4つのグループに分かれて、分かち合いをしました。どのグループでも、徐々に隠していた心の奥底の悩み、経験を語りだし、それぞれがさめざめと涙を流しながら、語り合いました。私たちは時に心を固く閉じてしまっているように思います。でも、自分も同じ悩みを持っていると感じたとき、人は心を開き始めます。この閉ざしていた心が開かれなければ、主の恵みも受け取れません。これがキャンプの最大の恵みと言っても過言ではないでしょう。まさに、解放のとき、恵みの時でした。

二日目の午後には、東埼玉教会のメンバーによる賛美フラダンスが披露され、「証集」と題した証会が開かれ6人が信仰体験段を語りました。すばらしい主の働きのかずかずが語られましたが、東埼玉教会の西部敏子姉の救いの証と、続々と家族と身内・友人がイエスの救いにあずかる証は、まさに圧巻で、救われる人が少ないと嘆いているのではなく、本当に主の霊が豊かにくだることの大切さ、祈りの大切さ、苦難のあとの祝福を改めて感じ、私もその霊をいただきたいと思わされました。

東埼玉教会の多くの兄弟姉妹が、熱心にこのキャンプを綿密に準備し、ご奉仕してくださいました。心からその犠牲に対して感謝します。来年は柏教会が主催教会だそうです。今からご予約ください。おそらく2027年度は我孫子教会が主催教会かもしれません。どうぞ、他教会のように協力していただいて、すばらしいキャンプを主の前にささげましょう。

詩篇133篇1節(新改訳)

見よ、兄弟が一つになって、
ともに住むことは
なんといい幸せ、
なんといい楽しさだろう。

